

長期構想検討委員会(第1回、第2回)での主要意見

(第1回委員会)

- 北九州港の独自性、他地域・他港との差別化
- 北九州港が抱える問題点への対応
- 現行計画の評価、課題に対する優先度の整理
- 空港との関係及び人流の視点
- その他(安全・安心、港に対する市民の意識)

(第2回委員会)

- 市民理解を得やすいような将来像を設定すべき。
 - 将来像に、暮らし、生活という観点が抜けている。
 - 港は、産業や都市づくりだけでなく、暮らしや安全・安心などに貢献していることをもっとアピールすべき。
- 急速に社会経済情勢が変化する中で、
どう将来目標(需要予測)を検討していくのか。
- クオリティの高い港を作り、その中で人と環境が調和し、
港が元気になることが必要である。
- 企業進出の起爆剤となる公共バースの充実や、港から内陸の
工場までの陸路の物流ネットワークの充実が必要である。
- 港としての機能・役割を終えた所は、
港湾以外の利用を含めて見直しが必要である。
- 世界の環境首都を支える北九州港に大きな期待をしている。

北九州港長期構想策定に向けたスケジュール

長期構想

平成20年度

第1回委員会 (H20年8月)

- 現状分析
- 情勢変化と課題

第2回委員会 (H21年2月)

- 既定計画の評価
- 北九州港の特徴と役割
- 長期構想(骨子)

平成21年度～平成22年度

第3回委員会 (H21年8月)

- 長期構想
中間取りまとめ(案)
(理念、将来像、ゾーニング)

パブリックコメント (H21年11月～12月予定)

ゾーニングをより具体化し、
長期構想最終案として取りまとめる。

第4回委員会

- 長期構想
最終取りまとめ(案)

パブリックコメント

第5回委員会

- 長期構想最終案(報告)

長期構想策定

第1章. 長期構想策定(背景)

1. 北九州港の概要(役割と問題点)

- (1) 発展の経緯(港の役割)
- (2) 現在の港湾計画(ハブポート構想)
- (3) 北九州港の現状
- (4) 既存施設が抱える問題点

3. 北九州港のポテンシャル

- (1) 地理的・自然的条件
 - ① アジアに近い地理的優位性
 - ② 関門海峡を通峡せずに関東・関西への海上アクセス可能
 - ③ 本州と九州を結ぶ交通の要
 - ④ 広大で安価な土地を提供できる
 - ⑤ 沿岸部に深い自然水深を有する
 - ⑥ 長い水際線と雄大な自然景観
- (2) 社会的条件
 - ① 充実したアジア航路
 - ② 東アジアとの経済交流ネットワーク
 - ③ 我が国産業を支える鉄鋼生産拠点
 - ④ 周辺地域には約200万台を超える自動車生産拠点
 - ⑤ 九州最大の工業地域として様々な産業が集積
 - ⑥ 歴史と文化の魅力や産業観光資源を有する
 - ⑦ 環境モデル都市

2. 利用者ニーズと市民ニーズ

- (1) 利用者ニーズ
 - ① 国際海上輸送ネットワーク強化
 - ② コンテナターミナルの活用と機能強化
 - ③ 港を身近に感じることができる取り組み
 - ④ 港湾施設の適正な維持・管理
- (2) 市民ニーズ
 - ① 地域の活性化に寄与してほしい
 - ② 市民の安全・安心に貢献してほしい
 - ③ 親水空間やにぎわいのある交流拠点を充実させてほしい
 - ④ 「世界の環境首都」を支えるため大きな役割を担ってほしい

4. 社会経済情勢の変化

- (1) 経済のグローバル化の進展と東アジアの経済発展
- (2) 本格的な人口減少・少子高齢化の進行
- (3) 地球環境問題の深刻化
- (4) 安全・安心に対する市民意識の高まり

5. 時代が求める新たな課題

- (1) ものづくり産業の競争力強化
 - ① 船舶の大型化への対応
 - ② 臨海部への産業集積への対応
 - ③ 自動車輸送機能の強化
- (2) 物流ネットワークの強化
- (3) 国際海上輸送ネットワーク強化
- (4) 安全・安心な市民生活と企業活動の実現
 - ① 大規模災害への備え
 - ② 港湾施設の老朽化への対応
 - ③ 安全な航行環境の確保
- (5) 環境先進都市を支える
 - ① 自然環境保全への意識の高まりへの対応
 - ② 環境モデル都市の実現
 - ③ 循環型社会の構築
- (6) 長い水際線と景観、歴史と文化の魅力を活かした交流拠点の形成
 - ① 観光客の滞在性の向上
 - ② 国際交流拠点の形成
 - ③ 港と調和したまちづくり

理念(案)

ものづくりを支え、
まちを元気にする

人と地球にやさしく、

世界の環境首都を支える

第2章. 長期構想(案)

将来像(案)

ものづくり産業を支える
物流基盤としての港

施策(案)

- 国際競争力及び産業競争力の強化
- 物流ネットワークの強化

将来像(案)

災害時に強く、いつも安全で
市民生活や企業活動を支える港

施策(案)

- 大規模地震等の自然災害への対応
- 船舶航行等の安全の確保
- 老朽化した施設の適切な維持管理
- テロ対策等の港湾セキュリティ向上

将来像(案)

環境首都(環境モデル都市)
にふさわしい港

施策(案)

- 循環型社会の形成
- 地球温暖化防止への対応
- 自然環境の保全

将来像(案)

多くの人が憩い・賑わう港

施策(案)

- まちの賑わいと一体となった交流拠点の形成
- 交流ネットワーク形成
- 市民に親しまれる水際線の整備

ものづくり産業の競争力強化とともに市民の豊かな暮らしを支える物流基盤として、国際競争力のある港づくりが求められる。

大規模災害やテロ等から地域を守り、安全・安心で質の高い市民生活や企業活動の実現等に貢献する港づくりが求められる。

深刻化する地球環境問題に積極的に取り組む国際的な環境先進都市の港湾として、世界の環境首都にふさわしい港づくりが求められる。

長い水際線と良好な自然景観、歴史と文化の魅力を活かし、市民と来訪者がともに楽しむことができる港づくりが求められる。

将来利用ゾーニング